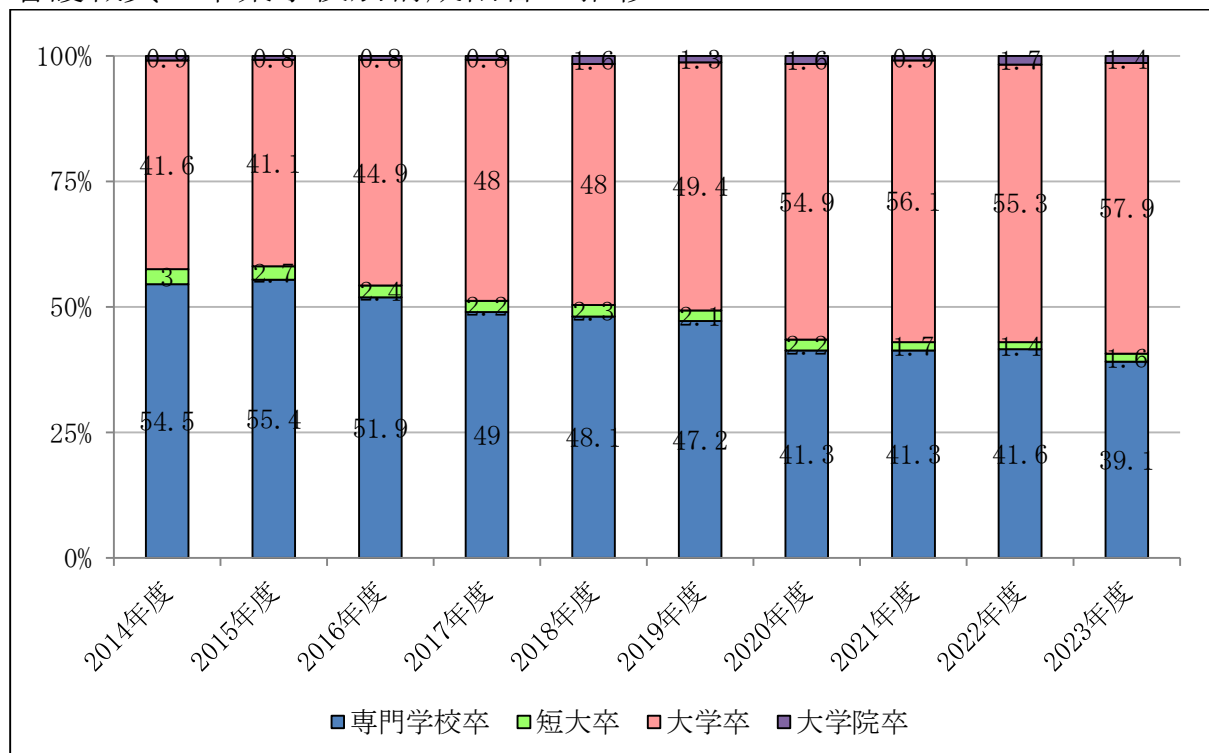


## 看護職員の卒業学校別構成割合の推移



医療・看護提供体制の大きな変化に伴い、看護師には、対象者の複雑性・多様性に対応した、より総合的な看護ケアの提供へのニーズと期待が高まっている。日本看護協会では看護師基礎教育の4年制化の実現が推進され、基礎教育の主体であった専門学校が大学へと徐々に移行されている。

当院においては看護学科を有する大学が併設され、従来から他施設と比較し、より多くの大学卒看護師を確保できており、昨年度に比較して、55.3%から57.9%と増加している。さらに、卒後教育としてキャリアアップの一環で大学院に進学する職員も少なくない。短期大学卒業者は3年間変動がない。看護専門学校卒業生は、年々減少傾向である。将来の看護職が社会から期待される役割を果たすために、質の高い看護師の育成が求められる。

データ提供 看護部